

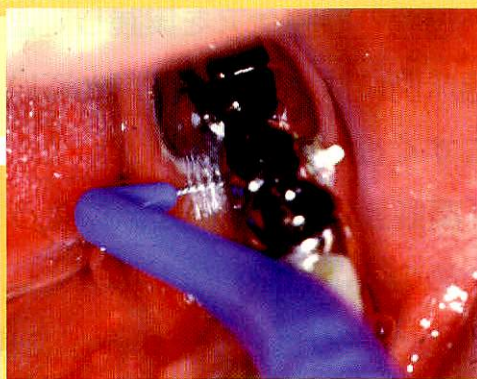
歯科衛生士のための 高齢者歯科学

監著 渡邊 誠
岩久 正明

B5判・368頁・カラー
定価（本体2,700円+税）
ISBN 4-8160-1145-5

高齢者の口腔ケアの新しい指針—

新しい歯科衛生士教育制度に対応した、現場経験者による初の教科書



高齢者歯科臨床の
「ここが知りたい」に答えます。
高い使命感を持ったスタッフを育て
ることを目指す充実した教材。

永末書店

《ホームページ》
<http://www.nagasueshoten.co.jp>

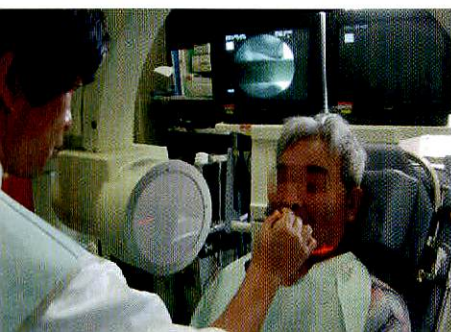
本社：〒602-8446
京都市上京区五辻通大宮西入五辻町69-2
TEL 075-415-7280 FAX 075-415-7290
E-mail:kyoto@nagasueshoten.co.jp

編集部：〒110-0005
東京都台東区上野1-18-11西楽堂ビル4F
TEL 03-3831-5211 FAX 03-5818-1375
E-mail:tokyo@nagasueshoten.co.jp

歯科衛生士のための 高齢者歯科学

本書の特徴

- 新しい歯科衛生士教育制度への移行にともない、より有能な人材を育成するために最適な教材。
- 著者は、「高齢者歯科学」を研究・実践してきた専門家。および、実際の医療現場で口腔ケアを実践してきた歯科医師・歯科衛生士。
- 豊富な臨床例には、多くの写真とていねいな解説がついており、実践の場にすぐ役立ちます。
- 新しい「高齢者歯科学」の理念に裏うちされた「日本人による日本人のための高齢者歯科学」の集大成といえます。
- 実践に役立つテクニックと知識が満載
- 豊富な臨床例
- 臨床写真多数掲載
- 現場経験者による丁寧な解説



CONTENTS

第1章 高齢者歯科学の目的

1. 高齢者とは
2. 高齢者歯科学の目的

第2章 高齢者と社会

1. 人口の高齢化
2. 高齢者の心理
3. 高齢者の社会的役割

第3章 高齢者の健康

1. 高齢者に多い疾患
2. 高齢者の栄養

第4章 加齢と老化

1. 生物学的老化
2. 全身の老化
3. 顎口腔の老化

第5章 高齢患者の診査と治療方針の決定

1. 高齢患者の診査
2. 口腔機能の評価
3. 医療情報の収集
4. 診療方針の決定

第6章 健常な高齢患者の歯科診療

1. う蝕の治療
2. 歯周疾患の治療
3. 口腔外科的治療
4. 義歯の治療
5. 口腔粘膜・唾液腺の治療
6. 薬物を用いた治療

第7章 合併症のある高齢患者の治療

1. 高齢者に多い合併症
2. 合併症を考慮した歯科治療

第8章 障害のある高齢患者の治療

1. 高齢者に多い障害
2. 障害を考慮した歯科治療

第9章 歯科診療における歯科衛生士の役割

1. 高齢患者との接し方
2. 高齢者に対する歯科衛生臨床
3. 歯科衛生ケアプロセスに基づいた高齢者への歯科衛生臨床

第10章 歯科診療時の全身管理

1. 歯科診療時に注意する合併症
2. 歯科診療時の安全管理

第11章 感染予防対策

1. 感染予防対策の基本
2. 歯科診療における感染予防対策

第12章 口腔保健管理と社会保障

1. 口腔保健と健康づくり
2. 保健・医療・介護
3. 医療施設と福祉施設

第13章 高齢者の口腔ケア

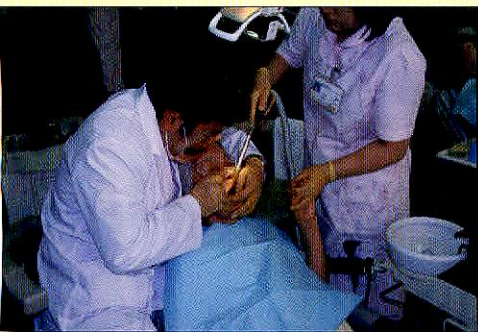
1. 口腔ケアの定義
2. 口腔ケアの意義
3. 医療口腔ケアの留意点
4. 口腔ケアにおけるメディカル・ケア・プロフェッショナルのそれぞれの役割
5. 口腔ケアの対象と分類
6. 一般的口腔ケア（清掃）法
7. 専門的口腔ケア
 - ・専門的口腔ケアとは
 - ・介護予防と口腔ケア
 - ・症例報告
 - 経管栄養者
 - 片麻痺患者
 - 歯肉増殖症
 - 認知症
 - 口腔・中咽頭がん患者
 - 口腔乾燥
 - 寝たきり者
8. 介護者への指導
9. 高齢者の口腔ケアとQOLの向上について

第14章 訪問歯科診療

1. 訪問歯科診療の体制
2. 訪問歯科診療の実際
 - ・訪問歯科診療の実践例
3. 訪問歯科保健指導

第15章 口腔機能リハビリテーション

1. 摂食・嚥下に関する生理・解剖
2. 摂食・嚥下のメカニズムと加齢による機能変化
3. 摂食・嚥下障害
4. 摂食・嚥下障害の治療
5. 摂食・咀嚼・嚥下障害における医師・歯科医師および歯科衛生士の役割
6. 構音障害



歯科衛生士のための 高齢者歯科学

刊行にあたって

現在わが国は超高齢化社会を迎え、高齢者の口腔の健康維持・増進には、高齢者のそれぞれの身体的・精神的状況に応じた適切な口腔ケアの実践が緊急の課題になっています。一方、我が国にも高齢者歯科学講座が本格的に設置されて既に十数年が経過し、「高齢者歯科」に関する研究・教育・医療の実践を通じて、多くの蓄積がなされてまいりました。

これは、また、現場で高齢者歯科に関する研究・教育・医療に携わってきた多くの人々のひたむきな努力と実践に依るものです。また、「既存の専門分野の一部としての高齢者歯科」の位置づけではなく、新しい学問体系のコンセプトを追求してきた人々による賜物として、今、これらのエビデンスの蓄積が実を結び、開花しようとしており、明確に「日本人による日本人のための」高齢者歯科学の全容を著すことができるようになりました。

そこで今回、借り物ではなく、本物の専門的知識と実践経験を十分に蓄積された先生方にご執筆を戴き、『歯科衛生士のための高齢者歯科学』を出版しました。本書は、「高齢者歯科」のトータルなケアについて「エッセンシャルな概念」と「各論としての実践」を網羅し、さらに専門家による今までにない教科書として、より多くの医療従事者が存分に活用していただけるものと確信いたしております。

平成17年2月 渡邊 誠



口腔ケアにつきましては、広義の意味では、メディカル・ケア・プロフェッショナル各職種のチームケアによる場合も多く、歯科衛生士がその一員としての自覚を持つための教育が必要です。また、狭義の意味での、日常の口腔清掃の場合では、看護業務多忙な看護師や絶対数の少ない歯科衛生士が、病院や施設で専属に携わることは困難であります。一方、国の福祉政策も厳しい経済環境の中で、後退を迫られる状況にあり、今や、一億国民すべてが高齢者の介護者であることの自覚が求められています。

そのような状況で、日常の口腔清掃等については、訓練された歯科衛生士や看護師による講習を行い、ヘルパー、付き添い、家族などが誰でも容易に理解・習得でき、高齢者にとって体にも、心にも安全で優しい実践技法を習得できるようにするためのテキストの存在も必須であります。

そこで本書は、より専門的な歯科衛生士教育、さらに既に現在臨床現場にあって時代と共に多様化・複雑化する社会のニーズに応えるべく研修を受けようとする歯科衛生士、ヘルパーなどに口腔清掃指導を行うための研修を希望する看護師などにも役立つものとなりました。

また多くの臨床例をとりあげ、多数の臨床写真を掲載しましたので、それらを眺めることにより学生はもちろん、現場の歯科衛生士、さらにはヘルパー、付き添い、高齢者の家族にも、役立つものと考えております。

平成17年2月 岩久 正明